

2019年度 第5回 ヨコハマFD フォーラム



地域連携による大学教育 — PBLとシチズンシップ教育 —

開催日時 **2019年12月7日(土)**

13:00~17:00 ※12:30受付開始

17:20~18:30 情報交換会(会費制)

開催会場 **神奈川大学横浜キャンパス3号館305講義室**

対象 **大学生、大学教職員 その他大学教育に関心のある方**

プログラム詳細は裏面をご覧ください



■参加申込方法

https://kanagawa-u-entry.jp/form/index.php?mail_form_pk=1572317726

上記URLより参加申込フォームにてお早めにお申し込みください。

■参加締切【11月29日(金)】

■参加費無料 (情報交換会のみ会費制：学生1,000円、教職員その他 3,000円)


■お問い合わせ先：神奈川大学教育支援センター

E-mail： kanagawa-fd@kanagawa-u.ac.jp

電話番号：045-481-5661 (代表)



【共同主催】

 神奈川大学

 関東学院大学

 Initiative for Global Arts & Sciences
横浜国立大学

 横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

横浜4大学は、2017年2月FD(教育改善)活動について連携する包括協定を締結しました。

第5回ヨコハマFDフォーラム

会場： 神奈川大学横浜キャンパス3号館305講義室

●開会挨拶(13:00~13:10)

神奈川大学 副学長 山本 博史

●実践報告(13:10~15:10)

副専攻プログラム「地域交流科目」・「地域創造科目」 による地域実践

(13:10~13:40)

科目名:地域交流科目、地域創造科目

横浜国立大学 地域実践教育研究センター 准教授 志村 真紀

横浜国立大学では、現代GPとして取り組み始めた2004年度から今年度で16年目となる副専攻プログラム「地域交流科目」を全学部生を対象に開設し、2011年度からは大学院生を対象とした副専攻プログラム「地域創造科目」も運営しています。全国の中でも「地域連携を主題とした教育プログラム」として先駆的に取りかかり、長年に渡り運営できている当プログラムの特徴や仕組みを紹介します。また、「地域学」の講義におけるアクティブ・ラーニング教材として開発しSDGsも絡めた「まちづくりゲーム」や、地域課題実習(PBL)の事例を具体的に紹介します。

まちづくりコースにおけるPBLと地域貢献

(13:40~14:10)

科目名:まちづくり実習I/II・地域まちづくり実習・海外まちづくり実習 他

横浜市立大学 国際教養学部都市学系 教授 鈴木 伸治

横浜市立大学まちづくりコースではPBLをカリキュラムの中心に据えて、大学の地域貢献とも連携しながら実践的なまちづくり分野の人材育成に取り組んできました。専門科目、実習科目、演習を連携させながら行うカリキュラム設計のポイントと実践事例を中心にPBLによる学びとその成果・課題について報告します。

また、コース内のゼミでは、それぞれの専門性を活かした活動を行っており、専門科目では難しい、地域との継続的な連携も行っており、大学の地域貢献活動の一端を担っています。この報告では、その一例として、中区黄金町地区での活動事例を紹介します。黄金町地区はかつて違法な売買春が横行する地区でしたが、地域住民の発意により、地区再生の取り組みが行われてきました。まちづくりコース鈴木ゼミでは2007年より継続して地域のまちづくり活動に参画しています。

学外との課題解決を通じたゼミナール活動

(14:10~14:40)

科目名:ゼミナール I~IV、卒業研究

関東学院大学 人間共生学部 学部長 新井 信一

新井ゼミナールは学外の企業やNPO、自治体等とのプロジェクトを進めています。運営にあたっては、1学年あたり1~3名で、学年横断チームとして複数のプロジェクトを並行して進めています。プロジェクトの大半は、大きな目標はあるものの、具体的な課題設定は試行錯誤しながら年度を超えて取り組んでいます。

以下は2019年度の連携先です。

- 横浜南部市場共栄会【2016年度~】
- 横浜銀行
(はまぎん今昔写真、ありあけプロジェクト)【2016年度~】
- 金沢区通所介護事業者連絡会【2016年度~】
- 金沢区役所区政推進課(クロスミーティング)【2016年度~】
- 熊本県菊池地域学連携【2017年度~】
- 金沢区役所地域振興課(キャンバスタウン金沢)【2018年度~】

地域連携によるアクティブラーニングの取り組み

(14:40~15:10)

科目名:市民社会論・環境社会論

神奈川大学 人間科学部 教授 松本 安生
人間科学部 非常勤講師 町田 小織

市民社会論(前期)では、横浜市地球温暖化対策推進協議会との連携により、「SDGs未来都市横浜」に向けた行政、企業、市民の取り組みを事例に、ゲスト講師による講演と受講生によるグループディスカッションを行いました。各回のグループディスカッションでは、自分たちが環境大臣や社長、環境NGO代表、子育て中などの立場になって、行政や企業の取り組みについて議論しました。最後には、それぞれの取り組みを踏まえ、SDGs未来都市横浜に向けて大学としてあるいは学生としての取り組みについて提案しました。

一方、環境社会論(後期)では、横浜市地球温暖化対策統括本部との連携のもと、市内の企業からの具体的な環境課題に対して受講生が解決策を検討し、企業に対して提案しました。講義では提案を検討するための手がかりとして、行動科学やコミュニケーションをテーマにゲスト講師による講演を行ったほか、背景となる環境問題やエネルギー問題について講義しました。

●パネルディスカッション(15:25~16:50)

上記実践報告者に履修学生、連携しているNPO団体の方々をパネリストに加えたパネルディスカッションを行います。

[モデレーター] 神奈川大学 教育支援センター 所長(経営学部教授) 高城 玲

[パネリスト] 横浜国立大学 経済学部4年次 山口 大地/NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター 木村 勇樹氏

関東学院大学 人間共生学部3年次 山本 慧/神奈川大学 人間科学部4年次 岩崎 将也

●閉会挨拶(16:50~17:00)

関東学院大学 副学長

(高等教育研究・開発センター長) 奥 聡一郎

●情報交換会(17:20~18:30) ※会費制(学生1,000円、教職員その他3,000円 当日受付にて徴収)